



専門性を高める
うちに自分の見方や
考え方が狭くなるような
気がしませんか？

事例で学ぶ心理士の勘所

～統合・折衷派および精神分析学派の視点から～

アプローチの異なる2人の心理療法家をお迎えし、1つの事例を多角的な視点から探ります。対話を通して心理療法の、そして心理療法家としての“勘所”を探ります。ぜひご参加下さい。

日時

2019年2/24(日)
14:00～17:00(13:30開場)

※本研修では支持的心理療法を用いた母親面接の一事例を取り上げます。

対象

大阪府臨床心理士会 会員
(先着70名)

会場

北野病院 5階 きたのホール
(大阪市北区扇町2-4-20)

費用

2,000円(当日払い)

統合・折衷派

加藤 敬 先生

(こども心身医療研究所)

【Profile】

長年、一般社団法人こども心身医療研究所にて心理臨床に従事。現在、一般社団法人こども心身医療研究所にて主任臨床心理士及び大阪府臨床心理士会会長を務める。

【著書】統合・折衷的心理療法の実践—見立て・治療関係・介入と技法ほか。

精神分析学派

宮田智基 先生

(公財)関西カウンセリングセンター専任講師)

【Profile】

長年、清風会香良病院にて精神科臨床に従事し、「京都精神分析心理療法研究所(KIPP)」にて対人関係精神分析の訓練を受ける。現在、(公財)関西カウンセリングセンターにて心の相談室長を務める。

【著書】SNSカウンセリング入門—LINEによるいじめ・自殺予防相談の実際

お問い合わせ・お申込み

メール▶ osaka_cp_20190224@yahoo.co.jp まで

件名を「事例検討会」とし、本文に以下の項目をご記入ください。

①お名前(ふりがな) ②臨床心理士番号 ③ご所属 ④電話番号 ⑤所属部会

※1週間以内に返信がない場合には上記アドレスにお問い合わせください。

※本研修は臨床心理士資格更新に係わるポイントは取得できません。 ※申込締切は2月17日(日)です